



デバイスとサービスのオンボーディング

ライブデバイスとモデルデバイスの両方を CDO にオンボーディングできます。モデルデバイスはアップロードされた構成ファイルであり、CDO を使用して閲覧および編集できます。

ほとんどのライブデバイスおよびサービスでは、Secure Device Connector が CDO をデバイスまたはサービスに接続できるように、オープンな HTTPS 接続が必要となります。

SDC とそのステータスの詳細については、[Secure Device Connector \(SDC\)](#) を参照してください。

この章は、次のセクションで構成されています。

- [Cisco IOS デバイスのオンボーディング \(1 ページ\)](#)
- [CDO からのデバイスの削除 \(3 ページ\)](#)
- [オフライン管理用にデバイスの設定をインポートする \(4 ページ\)](#)
- [CDO からのデバイスの削除 \(4 ページ\)](#)

Cisco IOS デバイスのオンボーディング

この手順を使用して、Cisco IOS (Internetwork Operating System) を実行している稼働中のシステムデバイスをオンボーディングします。

始める前に

Cisco IOS サーバーがサポートする暗号が CDO でサポートされていることを確認してください。

現時点では、CDO は、Cisco IOS デバイスのオンボーディング用に限定された暗号セットをサポートしています。サポート対象の暗号方式：

```
aes128-ctr, aes192-ctr, aes256-ctr, aes128-gcm, aes128-gcm@openssh.com, aes256-gcm, aes256-gcm@openssh.com
```

サーバーがサポートする暗号を確認するには、SDC にログインし、コマンド `ssh -vv <ip_address>` を実行します。Cisco IOS デバイスを正常にオンボーディングできるようになりました。

-
- ステップ 1** CDO のナビゲーションバーで、[デバイスとサービス (Devices & Services)] をクリックします。
- ステップ 2** 青色のプラスボタン  をクリックして、デバイスのオンボーディングを開始します。
- ステップ 3** [統合に接続 (Connect to Integrations)] をクリックします。
- ステップ 4** [Secure Device Connector (SDC)] [https://docs.defenseorchestrator.com/Welcome_to_Cisco_Defense_Orchestrator/Basics_of_Cisco_Defense_Orchestrator/0030_Secure_Device_Connector_\(SDC\)](https://docs.defenseorchestrator.com/Welcome_to_Cisco_Defense_Orchestrator/Basics_of_Cisco_Defense_Orchestrator/0030_Secure_Device_Connector_(SDC)) ボタンをクリックして、このデバイスが通信するネットワーク内の SDC を選択します。デフォルトの SDC が表示されますが、SDC 名をクリックすることで SDC を変更できます。
- ステップ 5** デバイスに名前を付けます。
- ステップ 6** デバイスの場所 (IP アドレス、完全修飾ドメイン名、またはホスト名) を入力します。デフォルトの接続ポートは 22 です。
- ステップ 7** [統合 (Integrations)] メニューから、[IOS] を選択します。
- ステップ 8** [移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 9** (オプション) [統合の作成 (Create Integration)] ページで、SSH フィンガープリントをダウンロードして確認することができます。
- ステップ 10** デバイスの管理者名とパスワードを入力します。
- (注) 現時点では、CDO は公開キー認証を使用した接続をサポートしていません。
- ステップ 11** このデバイスにイネーブルパスワードを設定している場合は、[イネーブルパスワード (Enable Password)] フィールドにパスワードを入力します。
- ステップ 12** [接続 (Connect)] をクリックします。
- ステップ 13** (オプション) デバイスのラベルを入力します。詳細については、『[Labels and Label Groups](#)』を参照してください。
- ステップ 14** [続行 (Continue)] をクリックします。
- ステップ 15** 別の IOS デバイスをオンボーディングするか、[完了 (Finish)] をクリックします。
- ステップ 16** [デバイスとサービス (Devices & Services)] ページに戻ります。デバイスが正常にオンボーディングされると、設定ステータスが [同期 (Synced)]、接続状態が [オンライン (Online)] と表示されます。
- ステップ 17** (オプション) 必要に応じて、デバイスの [メモ (Notes)] ペインにデバイスに関するメモを入力できません。詳細については、「[デバイスノート](#)」を参照してください。
-

ASR または ISR モデルの作成とインポート

Cisco IOS モデルは、CDO にオンボーディングされた Cisco IOS デバイスの実行コンフィギュレーション ファイルのコピーです。Cisco IOS デバイス設定をテキストファイルにダウンロードし、管理している別のテナントに IOS モデルとしてインポートできます。

ASR または ISR 設定のダウンロード

- ステップ1 ナビゲーションバーで、[デバイスとサービス (Devices & Services)] をクリックします。
- ステップ2 [デバイス] タブをクリックします。
- ステップ3 [IOS] タブをクリックして、デバイスを選択します。
- ステップ4 左側のペインの [管理 (Management)] で、[設定 (Configuration)] をクリックします。
- ステップ5 [ダウンロード (Download)] をクリックしてデバイス設定をローカルコンピュータにダウンロードします。

ASR または ISR 設定のインポート

- ステップ1 [デバイスとサービス (Devices & Services)] ページに移動します。
- ステップ2 青いプラス (+) ボタンをクリックして、設定をインポートします。
- ステップ3 [デバイスなしで構成ファイルをインポート (Import a config file without a device)] をクリックします。
- ステップ4 [デバイスタイプ (Device Type)] として [ASR] または [ISR] を選択します。
- ステップ5 [参照 (Browse)] をクリックし、アップロードする設定ファイル (テキスト形式) を選択します。
- ステップ6 設定が確認されると、デバイスまたはサービスにラベルを設定するよう求められます。詳細については、『[Labels and Label Groups](#)』を参照してください。
- ステップ7 モデルデバイスにラベルを設定した後、[デバイスとサービス (Devices & Services)] リストで確認できます。

(注) 設定のサイズ、および他のデバイスまたはサービスの数によっては、設定の分析に時間がかかる場合があります

CDO からのデバイスの削除

CDO からデバイスを削除するには、次の手順を使用します。

- ステップ1 CDO にログインします。
- ステップ2 [インベントリ (Inventory)] ページに移動します。
- ステップ3 削除するデバイスを見つけ、そのデバイスの行でデバイスをチェックして選択します。
- ステップ4 右側にある [デバイスアクション (Device Actions)] パネルで、[削除 (Remove)] を選択します。
- ステップ5 プロンプトが表示されたら、[OK] を選択して、選択したデバイスの削除を確認します。[キャンセル (Cancel)] を選択して、デバイスをオンボードしたままにします。

オフライン管理用にデバイスの設定をインポートする

オフライン管理用にデバイスの設定をインポートすると、ネットワーク内の稼働中のデバイスを操作することなく、デバイスの設定を確認して最適化できます。CDO では、アップロードされたこれらの設定ファイルは「モデル」とも呼ばれます。

以下のデバイスの設定を CDO にインポートできます。

- 適応型セキュリティアプライアンス (ASA) 。
- Firepower Threat Defense (FTD) 。
- Aggregation Services Routers (ASR) や Integrated Services Routers (ISR) などの Cisco IOS デバイス。「ASR または ISR モデルの作成とインポート」を参照してください。

CDO からのデバイスの削除

CDO からデバイスを削除するには、次の手順を使用します。

ステップ 1 CDO にログインします。

ステップ 2 [インベントリ (Inventory)] ページに移動します。

ステップ 3 削除するデバイスを見つけ、そのデバイスの行でデバイスをチェックして選択します。

ステップ 4 右側にある [デバイスアクション (Device Actions)] パネルで、[削除 (Remove)] を選択します。

ステップ 5 プロンプトが表示されたら、[OK] を選択して、選択したデバイスの削除を確認します。[キャンセル (Cancel)] を選択して、デバイスをオンボードしたままにします。
